



こおりやま広域圏若手職員の感性を活かす
チャレンジ「新発想」研究塾 2026
を開講します



ターゲット 17.17 TEL：924-3358

2026年5月27日

郡山市市民部
ダイバーシティ推進課
課長 遠藤 真知子

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

研究塾のスタートにあたり、下記により開講式を行います。

1 日 時 6月3日(水) 13時30分～13時45分

2 会 場 郡山市役所本庁舎2階 正庁

3 内 容 ・市長挨拶
・塾生紹介

※開講式後、オリエンテーションを開催（概要説明、初回打合わせ等）

4 出席者 郡山市長

こおりやま広域圏の若手職員 15名

（郡山市1名、二本松市1名、田村市2名、本宮市1名、大玉村1名、
鏡石町1名、天栄村1名、猪苗代町2名、石川町1名、玉川村1名、
三春町2名、小野町1名）



↑昨年度研究塾「開講式」の様子

<こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾>

住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上に資する研究塾です。

研究成果は1月に予定している報告会において、こおりやま広域圏の各市町村に提言されます。

【スケジュール】

6月：開講式→7月～1月：調査研究、交流会、先進地視察→1月：報告会

※ 過去の研究塾の取り組みはこちらからご覧いただけます

URL: <https://www.city.koriyama.lg.jp/site/koikiken/list153-418.html>

※QRコードご参照ください→



こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2026について

1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

○住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上に資する研究塾。

2 研究塾2026のポイント

- 「こおりやま広域圏連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員が、圏域全体の課題解決に取り組む。(合計15名:郡山市1名、二本松市1名、田村市2名、本宮市1名、大玉村1名、鏡石町1名、天栄村1名、猪苗代町2名、石川町1名、玉川村1名、三春町2名、小野町1名)
- 塾生の都合に合わせてオンラインも併用し、調査研究の回数増、深堀を目指す。
- 研究分野【広域連携で解決すべき課題への取り組み】

3 メンバーの構成

- (1)年齢 概ね35歳以下の職員(令和8年4月1日現在)又は勤務5年以下の職員
- (2)人数
 - ・班構成:1班5名(班長1名、副班長1名、班員3名)
 - ・班数:3班
 - ・研究塾の代表、副代表各1名を選任
- (3)研究塾生決定方法
 - ・公募による募集

4 進め方・過去研究テーマ

【進め方】

研究テーマの設定→討議(調査研究)・交流会→先進地視察→報告会の実施(1月)

【過去研究テーマ】

こちらからご覧いただけます。

URL: <https://www.city.koriyama.lg.jp/site/koikiken/list153-418.html>



※QRコードご参照ください→

【スケジュール】

| 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | |
|----------------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|-----|
| 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 |
| 開講式 | | | | 交流会 | | | | | | | | | | | 報告会 |
| 調査・研究 先進地視察 | | | | | | | | | | | | | | | |